

賀美石小

伝統 4・5年生が引き継ぐ



これがイチオシ

運動会でソーラン節も

賀美石小学校では毎年、運動会で4～6年生がソーラン節を踊っています。「腰を落とす」「みんなで動きをそろえる」などを目標に、全力で練習に取り組み、授業時間以外に自主練習もしています。掛け声を合わせるところや、最後に大きな声で「やー！」と言うところがとてもかっこよく、汗だくなって踊るのも楽しいです。

全員がきちんと腰を落として動きを合わせているところが、私たちの自慢です。毎年、お客さんから大きな拍手をもらうことが励みになっています。

学校名 加美町立賀美石小学校
所在地 加美町鳥屋ヶ崎神明127
創立 1873年
電話 0229(67)2329
校長 遠藤 善敬
児童数 59人

賀美石小学校では、町指定無形民俗文化財「鳥屋ヶ崎獅子舞」の踊りと演奏を代々引き継いでいます。魔よけとして始まったとされ、春に神社に奉納していましたが、今では祭りや学習発表会でも披露しています。獅子舞保存会の方から踊りと演奏の指導を受けた6年生が、5年生に引き継ぎ、仕上げてきました。児童数が少なくなり、私たちの代から4・5年生で行っています。獅子舞には、横笛、太鼓、獅子、山の神の役割があります。横笛は、音

鳥屋ヶ崎獅子舞の披露



鳥屋ヶ崎獅子舞の引き継ぎ式。4・5年生が6年生から伝統を受け継いだ

編集委員 千葉風紗、千葉灯、渡辺雄介（6年）
指導教員 星野達

わが校わがまち スクール通信



次回は
浦戸小（塩釜市）
東向陽台小（富谷市）

子どものための哲学学ぶ

坂元小

フェーズフリー防災も

坂元小では探究の対話（P4c）と、防災学習に力を入れています。毎週月曜日の朝の時間は、みんなで輪になってP4cをしています。P4cは「Philosophy for Children（子どものための哲学）」の略です。話題は、みんなで考えたものの中から決めます。「どうしてそうをつくといけないの」「大人はどうして勉強しなさいって言うの」。みんなで問いを出し合い、考えるのが楽しいです。道徳や国語の学習でもP4cをします。学習参



①②探究の対話（問いを出し合う児童たち）
③④安全な避難の方法を考える児童たち

編集委員 佐藤柚衣、志賀さわ、佐藤ななみ、高橋駿太（6年）
指導教員 丸山内大翼



これがイチオシ

神楽や茶道で地域密着

「イチオシ」は、地域に伝わる「坂元こども神楽」です。坂元小の隣にある坂元神社の夏まつりで毎年、神楽が披露され、たくさんの人でにぎわいます。近くにある伊達家ゆかりの町指定文化財「大條家茶室 此君亭」では、茶道クラブが活動しています。お点前とともに、歴史や作法も学びます。

防災にも力を入れていて、避難方法を考えたり、安全なまちづくりに取り組んだりしています。私たちは、伝統や命を大切にする地域の良さを、もっと多くの人に知ってもらいたいです。

学校名 山元町立坂元小学校
所在地 山元町坂元館下159-1
創立 1873年
電話 0223(38)0305
校長 斎藤 賢一
児童数 71人

石包丁を使い、慣れない手付きで稲を刈る児童ら



9月27日は築館小と宮野小の1～6年生と保護者ら約50人が参加。主催した富野地域づくり協議会の会員が指導役を務めた。石包丁は長さ約10センチで、稲穂の近くに刃先を押し当てるようにして刈り取りを体験した。稲を束ねて干す棒掛けの作業も行っ

（10月1日朝刊より）

石包丁と鎌使い 古代米を稲刈り

栗原築館 児童ら50人参加

栗原市築館の富野地区の田んぼで、地元の小学生が石包丁と鎌を使った古代米の稲刈りに挑戦した。児童らは初めての作業にてこずりながらも、夢中になって稲を刈った。

古代米は赤米と黒米の2種類で、5月に児童らが田植えを行った。収量は合わせて150キロほどになる見込み。精米後、12月に参加者に配布する。

稲刈り体験は、地元の富野小が開校した2015年に地域の歴史を伝えようと始まった。

河北新報の仕事 がんばった 仙台市スチューデントシティ支局員紹介



木町通小6年

（10月2日）



岡田小6年、西中田小6年

（10月3日）



向陽台小5年、連坊小路小5年

（9月19日）



通町小5年、仙台台百合学園小5年

（9月26日）